

会長4人が民商のすこさ伝える  
**「声上げれば実現できる」**  
**滋賀 77人がつながり作り**



浜大津港に77人が集まった滋賀県の民商サクセション

滋賀県連と県青協は5日、77人が浜大津港に集合しました。4人の会長による「業者・民商を語る。よかった・しんどかった・伝えた」コーナーでは、「民商は税務調査の権利闘争がスゴイ。個人事業主は孤独だが、民商はつながりができる」（県連・喜多健吉会長）、「青年部で実現した自

己資金要件撤廃運動が印象に残った。声を上げれば実現できることを体感した」（天津高島・池端耕治会長）など経験を発言。草津甲賀民商の山崎忠清会長は「消費税が導入されてから余裕がなくなってきた。働き方としてこれでよいのか」と怒りを示し、湖東民商の紋谷明彦会長は「年内に民

商青年部をつくりたい」と抱負を語りました。参加者からも質問が出され、お互いに激励し合いました。

開催に向け、役員と事務局員が一体になり訪問活動や声掛けをし、つながりを作ったことが大きな財産になりました。

（滋賀県連・西野三根子通信員）